

「コミュラボ・コラボ」暮らしの中の宇宙  
「Commu Lab・Collab」 Space technology in a living

福井県児童科学館、福井工業大学  
Fukui Children's Science Center  
Fukui University of Technology

Goal 1, 3, 9, 11, 13, 16

小型衛星の打ち上げプロジェクトを推進している福井工業大学と連携し、宇宙についてのお話をしていただくと共に、宇宙開発の進展が私たちの生活の利便性に寄与していることを知ってもらうことを目的に開催しました。

実施日時：2018年8月18日（土） 13：30～15：00

実施場所：福井県児童科学館2階 コミュニケーション・ラボ

講師：吉村 朋矩氏（福井工業大学 工学部建築土木工学科）

中城 智之氏（福井工業大学 ふくいPHOENIXプロジェクト）

人々が生活していくには、道路や川を整備する土木だけでなく、社会基盤としてのインフラの整備が不可欠です。車に搭載されているGPSも人工衛星を活用したもので、自然災害が増えている現在、人工衛星からのデータ利用が素早い対応につながっています。気象衛星や陸観測衛星などの情報は、先進国だけのものではなく、途上国に暮らす人々の暮らしの向上にも活用されていくべきものです。宇宙の開発は、地球規模での利用を考えていかなければいけません。宇宙から得たデータを何に使うのか、どのように使うのか、これからの時代を生きる私たちの課題でもあるということを学びました。

